

令和7年度 学校教育自己診断の結果と分析〔令和7年12月実施分〕

A 学校の様子について

「学校に行くのが楽しい」については、84.0%が肯定的回答であった。昨年度（85.4%）から1.4ポイント減少した。昨年度からは減少となったが、依然として高水準を保っている。今後もこの水準を維持したい。

「学校の雰囲気がよく、生徒が生き生きしている」の肯定的回答は91.2%で昨年度（84.8%）から6.3ポイント上昇した。日々の学校生活はもちろん、学校行事等も含めて充実した生活を送れていると考えられる。

B 授業について

「授業の内容はわかりやすい」については82.3%が肯定的回答率であった、昨年度（85.5%）から3.2ポイント減少した。昨年度からは減少となったが、依然として高水準を保っている。今後もこの水準を維持したい。

C 進路指導関係について

「進路に関して必要な情報が適時・適切に提供されている」の肯定的回答は87.2%で昨年度（85.8%）から1.4ポイント上昇した。微増ではあるが、これまでの取り組みが成果を上げていると考えられる。生徒への進路情報の提供については、3年生だけでなく2年生向けの分野別説明会を開催する等、早期からの進路学習を推進している。また、保護者向けにもPTAと連携し大学見学会を実施。今年度の進路関連の取り組みを総括し、次年度に向けてこれからも取り組んでいく。

D 行事・団活動について

「学校行事は、充実している」の肯定的回答は90.6%で昨年度（85.7%）から4.9ポイント上昇した。今後も学校全体の行事について、検討しさらなる発展に向けて取り組んでいく。

E 生活指導・保健関係について

「学校生活について、先生の指導は納得できる」の肯定的回答は78.9%で昨年度（74.2%）から4.7ポイント上昇した。

「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」の肯定的回答は92.7%で昨年度（97.3%）から4.6ポイント減少した。昨年度からは減少となったが、依然として高水準を保っている。今後もこの水準を維持したい。

「学校には、生徒の悩みごとを聞き、相談にのれる体制ができている」の肯定的回答は86.0%で昨年度（86.6%）から0.6ポイント減少した。昨年度からは減少となったが、依然として高水準を保っている。今後もこの水準を維持したい。

今後も、多様なニーズへ対応するために研修等を深め共有し、教育実践に活かしていく。

F その他

「授業以外で一定時間毎日勉強している」の肯定的回答は 45.4 %で昨年度（40.2%）から 5.2 ポイント上昇した。授業以外での学習を促すよう、図書館に個別学習ブースを設置。また、学習支援クラウドサービスの活用も進めており、クラウドサービス側の担当者と連携し、目標別学習プランのリーフレット等を設置した専用ブースを図書館に設置し、家庭での学習習慣の定着に取り組んでいる。

「交通安全に対する意識が高まり、時間に余裕をもって登下校できている」の肯定的回答は 85.6%で昨年度（82.6%）から 3.0 ポイント上昇した。引き続き生徒の登下校中の安全確保に向け、意識の向上に取り組んでいく。

「校内の清掃は行き届いており、清潔で安全な環境を維持できている」の肯定的回答率は 75.6%で昨年度（72.8%）から 3.8 ポイント上昇した。今後も清掃活動を見直しながら取り組んでいく。

来年度以降もよりよい学校であり続けるために、日ごろの支援・指導の積み重ねが必要だと考える。